

東日本大震災 あいさつ

平成23年3月11日に東日本大震災が起きてから9年が経ちました。

この大震災が起きた時、6年生はまだ小学校に入学していませんでしたし、1～3年生は、まだ生まれてませんでした。そんなときですから、この地震の大きさや怖さやその後の大変だった様子はほとんど周りから聞くくらいかも知れません。

この地震によってたくさんの方が亡くなったり家が壊れてしまったり、放射線のためにその後どこかに避難して今までの学校に行けなくなったりしました。9年間経っても、もとの住んでいた場所に帰れない人たちもまだまだたくさんいます。

さらには、福島県で作られた作物が放射線のせいで危険だと言われて売れなかったり、避難した先で福島の間人だから菌を持っているなどと言っている人がいるなど、この大震災のために普通の生活ができない人もたくさんいます。

私たちは、この震災で亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、地震のことや津波のこと、そして放射線のことをしっかりと理解し、今後の生活にいかしていかなければなりません。

そして、何より、明るく元気に生活し、自分の目標を持って一生懸命に努力することこそが、福島県は素晴らしいことを世界中に知らせることにつながっていくと思っています。これからも、しっかりと勉強し、明るく元気にそして仲良く生活できるよう頑張ってください。